

小田原市立中央図書館

地域資料コーナー通信 第14号

編集/発行 小田原市立中央図書館
地域資料コーナー
〒250-0875 小田原市南鴨宮1-5-30
☎ 0465-49-7807
E-mail: tosho@city.odawara.kanagawa.jp
令和3年11月

図書館の「宝もの」

図書館所蔵貴重資料公開のお知らせ

特別公開①

新収 村田家文書

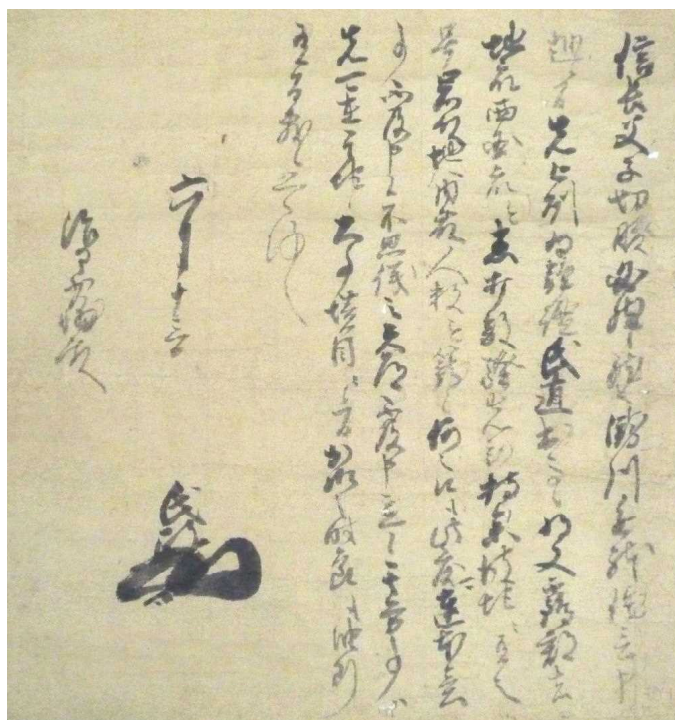
日時：令和3年11月2日(火)～同月23日(火) *月曜日休館

場所：小田原市立中央(かもめ)図書館 2階 地域資料コーナー

昨年寄贈された戦国時代の文書2点を含めて計3点を初公開いたします。そのうちの1点は、天正10年(1582)6月13日発給と推定される治部少輔(北条氏秀)宛て北条氏政の書状です。「信長父子切腹必然候」の書き出しは、6月2日未明の本能寺の変を知らせるもので、中央(京都)での政変が東国に伝わった臨場感あふれる史料となっています。詔言を申し入れてきた滝川一益のあと、上州(群馬県地域)の静謐のため当主氏直がすでに出馬した。静謐とは戦いの無い平和な世の中、それは北条氏による上野国の完全な領有を意味しています。一方、織田方の河尻秀隆に反旗を翻した甲斐都留郡の地侍衆の応援には、津久井城(神奈川県相模原市)の内藤綱秀を岩殿城(山梨県大月市)に向けて送り込んだ。その上で、武蔵江戸城(東京都)は「大事境目」だから油断しないようにと、小田原の隠居氏政は同城を守る一門氏秀へ激励しています。当然それは、長らく敵対関係にあった常陸の佐竹義重であり、下野の宇都宮国綱らを念頭に置いた上での、江戸城を守る氏秀への指示だったと考えられます。

「不思議の天道申し立つるに及ばず候」と感嘆しながらも、東国拠点での防禦、旧武田領接收のチャンスを確実なものにしようとする、戦国大名北条氏の瞬発力を感じていただきたい。

残りの2点は、奇しくも本能寺の変と同じ日、天正10年6月2日に書かれたと考えられる氏秀宛て氏直の書状と、天正2年閏11月2日の高塚大夫三郎宛て氏政の感状です。3点とも花押を添えた直書で、年号の推定には氏政・氏直の花押の変遷をよりどころの1つとしています。



特別公開②

北村門太郎(透谷)著『楚囚之詩』原本

日時：令和3年11月2日(火)～同月23日(火) *月曜日休館

場所：小田原文学館

明治22年(1889)4月9日春祥堂より刊行した北村透谷による初めての単行本で、当館所蔵本を展示いたします。明治18年11月の反政府闘争として計画された大阪事件を題材にした、わが国最初の自由律長編詩とされています。逮捕者の中には透谷と親交のあった人物も含まれていました。しかし、あまりに大胆な内容であることを自ら悔いて、発刊されたばかりの詩集を大量に廃棄したといわれています。そのため原本は非常に少なく、現在11点が確認されているにすぎません。

地域資料コーナーからのお知らせ

① 貴重資料のデジタルデータでの館内閲覧

旧市立図書館では、傷みのある所蔵古文書や大型の資料等は原資料での閲覧に代えて、紙焼き(CH)での閲覧にさせていただいております。今後、中央図書館ではデジタル・データ化が済んだ資料より順次、地域資料コーナー備え付けのパソコンでの閲覧を始める予定であります。古文書等の扱いに不慣れな方も気軽に閲覧ができ、A4判でのプリント(有料、カラーも可)もいたします。

現時点では、特別集書のうち有浦家文書・板倉文書の全点、小田原有信会文庫の一部のデジタルデータ化が済んでおります。また、寄贈された五十嵐写真館旧蔵写真や、市立図書館と五十嵐写真館とが共同で作成し、昭和28年からスライドショーで公開した「小田原よいとこ」シリーズについても、順次公開できるように準備を進めております。

② 中央図書館の臨時休館

◆令和3年12月中旬～同4年2月末(予定)

中央図書館は臨時休館中に外壁タイル改修工事等を予定しております。その期間、大変ご不便をおかけしますが、2階の地域資料コーナーもお休みさせていただきます。レファレンス・お問い合わせは電話およびメールで受け付けますが、貴重資料等の閲覧はできなくなります。詳細については、改めて市のホームページにてお知らせいたします。

【地域資料コーナー 利用案内】

市立中央(かもめ)図書館2階。☎0465-49-7807(直通)

休館日は毎週月曜日、年末年始、特別整理期間。

資料の出納・ご相談は9時～12時、13時～16時45分に承ります。

図書・資料は原則室内での閲覧のみ(一部郷土図書は貸し出し可)。

*貴重資料：電話で事前に閲覧申請・ご予約をお願いいたします。

【編集後記】

長いお休みをいただきましたが、中央図書館地域資料コーナーとして再出発しました。以前の地域資料室通信同様に、よろしくお願いいたします。